

花と緑のネットワーク通信

グリーンシーズン真っ盛りですね！今年は雨が少ないようですが、みなさんのところの植物たちは元気に育っていますか？花と緑のネットワークも「まちづくり体験実習」はじめ様々な活動がスタート。また、市内各地のボランティア団体、地域で活躍しているさっぽろタウンガーデナーの活動を取材しました。恵み野と北広島のオープンガーデンのレポートも増刊で掲載しています。

Report

札幌市役所本庁舎前コンテナガーデンづくり 様々なテーマの5つのコンテナ



デザイン講習会の様子

強風と照返しに負けない強い花で

今年は経験者が多く、初参加の5名の方をリードしてくれています。デザインを決める際には昨年の成功・失敗体験をふまえ、いつ来ても花が咲いていて、おもてなしできるような植物を選びました。5つのコンテナに共通する花はダリア。各コンテナ、テーマを決めてからデザインしましたが、どのコンテナにも色や種類の異なるダリアが植えてあります。見比べてみると面白いですよ！ぜひ市役所本庁舎前コンテナガーデンを見に来てください。



ライラック班

～雨にも負けず、風にも負けず～



ロベリア班

～ウェディングブーケ～



アネモネ班

～そよ風花壇～



クレオメインズ班

～やさしさのおもてなし～



サルビア班

～明るく楽しく～

Report

永山記念公園花壇づくり 学び合い、協力しながら一歩ずつ



今まで何も植えられていなかったので、土づくり講習を実施。良い土について学びました。



協力して植え込み

公園内の清掃も

8人のメンバーで花壇づくりスタート。オリエンテーション、土づくり、花植え、メンテナンスと活動を行ってきました。土づくりやメンテナンスでは、「これまで自己流だったけど、基礎から教えてもらい、勉強になりました。」と、ステップアップにつながったようです。また、花壇づくりサポーターのメンバーも駆けつけ、花植えやメンテナスをサポート。メンバー同士で教え合ったり、花談義しながら楽しく活動しています。

花植えの活動は、地域の道新販売所が発行するミニコミ誌「平成かわら版」に掲載されました。

Report

札幌市の「おもてなし緑化」でタウンガーデナー活躍中

6月28日、大通界隈フラワープランターの植込み、フラワーハンギングバスケットの制作講習会が行われ、さっぽろタウンガーデナーの有志のみなさんが参加しました。お近くにお越しの際は、ぜひご覧ください！



コンテナのメンテナンス活動



札幌駅南口のハンギング(10/8まで)

札幌市担当者による
見札
どこ
るを
伺
いました！

大通界隈フラワープランター

沿道企業様からのご寄附により設置している長方形プランターは、大通北側は陽当たりを好む植物、大通南側は日陰を好む植物により構成され、植物の特性を生かしたデザインが見所です。（吉田）

札幌駅南口駅前広場

フラワーハンギングやサッポロスマイルフラワーモニュメントを設置しています。彩り豊かな花々や多肉植物を用いた立体感のある植栽を楽しむことができます。（横平）

市民ホール前コンテナファーム

「札幌の農」をテーマに、札幌市で生産されている品種のジャガイモ、タマネギ、レタス、コマツナを植えています。都心にいながら農業を感じられる空間をお楽しみください。（中本）



今回は、市内各地の特色ある花植え活動をご紹介します。

みなさん創意工夫を凝らし、地域を花でいっぱいにしようと頑張っています！



南区

芸術の森フラワーロードに花を咲かせる会 腰水浸けで水やりの負担ゼロに

南区のボランティア団体「芸術の森フラワーロードに花を咲かせる会」のみなさんは、石山陸橋から常盤地区までの全長3kmの歩道沿いに花植えを行っています。距離が長く、花壇の数も多いため、なんとか管理の負担を減らせないかと、「腰水浸け」という、苗を前日に水に一定時間浸してから植え込む方法を実践しています。

腰水浸けにした花は、なんと雨水だけで育つそうです。水を求めて根がしっかり張り、株も丈夫に。かわいそうと思って途中で水やりをすると、根が浅くなり、ひ弱になってうまく育たないそうで、水やりしたい気持ちをぐっと抑えるのも大事だそう。「水やりの負担が減ったおかげで18年も続けられてこれた。」と代表の大谷さんは言います。水やりで悩んでいる皆さん、ぜひ試しにやってみませんか？



ブルーシートの上に苗をすらりと並べた後、シートの端を空きトレイを支えに持ち上げると即席プールの完成。6月1日花植え前日14時から翌朝6時まで花苗およそ1000株を水に浸けました。



6月2日の花植えには地域の子どもたち、道路管理会社の方など約100名が参加しました。

西区

花コパン

地域に呼びかけて一緒に花植え＆参加者に花苗のプレゼント

西区のボランティア団体「花コパン」のみなさんは、はちけん地区センターの花壇をきれいにしている団体です。今まででは団体メンバーだけで花植えをしていたのですが、センターのサポートもあり、今年初めて地域の方と一緒に花植えを行いました。

参加の呼びかけの方法は、はちけん地区センターのスタッフが発行する「はちけん地区センターニュース」で。花植え当日は、子どもからご年配の方まで10名ほどが集まりました。花コパンの加藤さんが、植える花の特徴や植え方を説明し、みんなで花壇へ。初めての方も経験者の方も花植えを楽しみました。センターに来るたびに思い出して、見守ってほしいですね。花コパンのみなさんが育てた苗のプレゼントも好評。参加された方は、早速寄せ植えや庭に植えます、と嬉しそうでした。

団体名の“コパン”はフランス語で“仲間”的意味。これからも花好き仲間が増えて、地域が花でいっぱいになるといいですね。



6月23日の花植えの様子。ラベンダーの間に一年草を植えました。いい香りに癒されながらの植込みでした。



花植え後に、花コパンのみなさんから花苗のプレゼント。育て方を花コパンのメンバーさんが教えてくれます。

白石区

さっぽろタウンガーデナー工藤了さん・博子さん “地域がきれいだったらうれしい” 小学校や町内会で広がる花の環

広報さっぽろ白石区版 6 月号「キラキラ白石人」に掲載されたタウンガーデナー工藤了・博子夫妻は白石小学校 1 年生の植花活動に 2010 年から参加しています。令和元年 6 月 7 日に行われた活動をご紹介します。



了さんは花の名前、
ポットからの取り出し
方、植えた後のポット
の片付け方までを説明
しました。



博子さんは児童の
持ってくる苗を
次々と花壇に植え
ました。



工藤さんの元には毎年生徒からのお手紙がたくさん届きます。中には育てたお花を押し花にして使っているものもあります。

10 年前に白石小学校のお向かいのマンションに引っ越して来て「お花が好きで、自分の住む町をきれいにしたい」という気持ちから 12 号線沿い、南郷通り、白石小学校、JR 白石駅とご自宅の周辺の緑化を行っている工藤さん。現小学生、元小学生から声をかけられることも良くあり、ご自身の活動と共に人の関わりが広がってゆくのがとても嬉しいとおっしゃっていました。

北区

秋桜「地域を花で飾ろう会」 地域の小学生と花植え 17 年目



北区のボランティア団体「秋桜『地域を花で飾ろう会』」のみなさんが、篠路小学校 3 年生の児童に花植えの指導を行いました。子どもたちに花を慈しむ心を育んでほしいと、学校の授業として花植え活動が平成 12 年にスタート。秋桜として花植え指導を始めたのは平成 15 年からで、今年で 17 年目です。今回は花壇づくりサポーターの 2 人のタウンガーデナーも花植えの指導に参加しました。温かく迎えてくださった秋桜のみなさん、ありがとうございました。

さっぽろ花と緑のネットワークイベント予告

9 月 25 日 14:00 ~
秋のタネ苗交換会

余った種や宿根草を交換しませんか？秋から春まで
楽しめる寄せ植えの紹介コーナーもあります！
場所：市役所 1 階西側ロビー 参加無料・要申込

中央区

円山小学校 PTA 園芸サポーター 活動開始！学校の周りを花できれいに



円山小学校では、今年から玄関前のコンテナガーデンづくりに取り組んでいます。毎年チューリップを植えていましたが、球根を掘り取った後は何もしていない状況で、なんとかきれいにできないかと思った PTA 有志メンバーでコンテナガーデンづくりがスタート。植える花は、子どもたちが嬉しくなるような明るく楽しい色の花をメンバーで選びました。花植えとメンテナンスには、花壇づくりサポーターが参加。お互いに勉強しつつ、楽しく花植え、お手入れをさせていただきました。PTA 園芸サポーターのみなさん、ありがとうございました。

10 月 22 日 11:00 ~、14:00 ~
花まちサロン～季節のミニリースづくり～

一般の方と一緒に、木の実やクリスマスのリースづくりをして交流しませんか？
場所：札幌市民交流プラザ

スタッフ
募集！



花と公園とボランティア 四季おりおり 季節の花や、花と緑に関わるボランティアさんをご紹介します。

市内最大級のフラワーパーク百合が原公園と、4つのボランティアグループ ～さっぽろタウンガーデナー茶話会 グリーンピクニック」を開催しました～

北区にある百合が原公園は昭和 58 年に開園した面積 25.4ha の公園です。昭和 61 年に「'86 さっぽろ花と緑の博覧会」の会場となり、温室、世界の庭園、リリートレインが整備されました。その後、昭和天皇陛下御在位五十年記念事業で世界の百合広場が造成され、公園のシンボルであるユリが約 100 種類植栽されています。

百合が原公園には「ミモザ」「クローバー」「ローズヒップ」そして「ガイドボランティア」の 4 つの公園ボランティアが活動しています。

ミモザの活動は毎週火・金曜日。温室植物、リリートレイン駅舎周辺などの花壇、樽鉢の手入れ、ヒマラヤの青いケシ「メコノプシス」の育成等を行っています。レイズドベッドは、地域の高齢者施設の方と花植えなどを行い、花を通したふれあいの場になっています。秋・冬は展示用のリースづくり、スノーキャンドルイベントにも携わり、1 年を通して活動しています。



クローバーは「香りの庭」で、毎週火曜日にハーブ、宿根草の手入れの他、一年草の播種を行っています。最近では、エリア内の花壇の素材を使ったリース作りも行っています。



ローズヒップは毎週木曜日に「ローズウォーク」などのバラの手入れを行っています。花が終わった後も、変わった色や形のローズヒップを残し、見に来る方に楽しんでもらえるようにしているそうです。



ガイドボランティアは来園者に公園の歴史や、季節の見どころを伝えています。ガイドとしてデビューするには 1 年間の研修を受けなければなりません。デビュー後も、公園職員による季節の花のレクチャーがあったり、お客様の要望に応えるため自分で植物を



Information

さっぽろ花と緑のネットワーク登録状況 2019 年 6 月 30 日現在

さっぽろタウンガーデナー (331 名)					
中央区	54 名	北 区	48 名	東 区	43 名
厚別区	26 名	豊平区	39 名	清田区	14 名
西 区	24 名	手稲区	25 名	その他	9 名

花と緑のボランティア団体 (全 31 団体)

覚えたり、メンバー同士で教えあいながら研鑽を積んでいます。冬の間は、次の年に向けたミーティングや自己研究の発表会を行っています。

7 月 6 日に、さっぽろタウンガーデナー茶話会「グリーンピクニック」が行われ、ガイドボランティアの案内で季節の花を楽しみ、タウンガーデナーと百合が原のボランティアが交流しました。当日は爽やかな青空の下、最初にミモザのレイズドベッドを見学し、ユリ満喫コースとバラ・各種ガーデン見学コースに分かれて散策しました。

散策の後は木陰でお茶と百合が原公園名物“ゆり根どら焼き”で一息。芝生の上でちょっとピクニック気分を味わいました。参加したみなさんは「ただ歩くだけより、ガイド付きだと発見があってよかったです」「バラの剪定が勉強になった」「園内の他の場所も早速見に行きます」などお声をいただきました。



参加いただいたみなさま、対応してくださった百合が原公園のボランティアのみなさま、ありがとうございました。



百合が原公園では、世界の庭園や、ヒースガーデン、宿根ボーダーなど、北国の気候に適するガーデンがあります。今見頃なのはアナベル、秋はダリアやキバナコスモス、紅葉が見どころです。園内を一周できるリリートレインもオススメ。ガイドボランティアのお散歩ガイドは 8 月 24 日から 10 月 19 日までの毎週土曜日に行ってます。予約不要で 13 時に温室前集合です。

ミモザ、ローズヒップ、クローバーのボランティアメンバーも募集中。見学・体験も可能です。お問合せは、百合が原公園管理事務所 (TEL772-4722) まで。



twitter も見てね！
@sapporohanamido

発行・編集

さっぽろ花と緑のネットワーク事務局

札幌市中央区北 1 条東 1 丁目ニューワンビル 4 階
(公財) 札幌市公園緑化協会内

WEB : <https://www.sapporo-park.or.jp/flowers/>

TEL : 011-251-3309 FAX : 011-211-2577

E-mail : flowers@sapporo-park.or.jp

主催 札幌市建設局みどりの推進部



ステキな工夫が
いっぱい！

7月10日に実施した恵み野見学会とランチ交流会、7月4日に事務局員が参加した北広島市オープンガーデン見学会から、素敵なお庭や工夫を紹介します。



恵み野&北広島 オープンガーデン特集

Report

恵み野見学会とランチ交流会より

1



2. 2014年から始まった商店会のバリアフリー工事に合わせて、無理なく花壇管理できるように、舗装を多くするよう工夫をしたそう。

3. 修景バラと斑入りイワミツバの美しいコントラスト。やすらぎストリートを東に抜けた通りも素敵なお庭が多くおすすめ。

4. 池田さんのバラのガーデン。丈夫で病気になりにくい種類のバラを選んで植えているそうです。

5. 杉若さんのお庭。段を作って立体的に見せたり、鉢を木の枠で隠す工夫が素敵です。



2



[OPEN] の看板がオープンガーデンの目印。

1. 隣近所がきれいにしていると、そのまた隣、また隣と、きれいにする人が増え、花の景色が繋がっていくのですと案内人の内倉さん。

4



5



7

8

6. 住宅街では、歩道敷地にも花を植えているところが見られました。道路を管理する恵庭市と協議して、緊急車両が通れるよう木は植えないこと、緊急車両が植栽部分に入ってしまうことも了承するという条件で、自宅周りの歩道にも緑を広げて楽しめているそうです。

6



7.8. ブルーの壁が素敵な家の鈴木さん宅のお庭。日陰でも華やかに見せる工夫を伺ったところ、①白い飾り棚やコンテナで明るく演出 ②日陰にあう斑入りの葉や色の濃淡、形、大きさ、質感の異なる葉（例えはギボウシ、ヒュケラ、ニシキシダ、キミキフーガ、フウチソウなど）やアジサイを植えていますとのこと。とてもセンス良く、見どころいっぱいのお庭でした。

1.2. 富永さん宅。お手製の木の壁と、すてきなハンギングバスケットの数々で入口を演出しています。工作物は旦那様、植栽は奥様とご夫婦で庭造りされました。



2



1

3. 2軒並んでオープンガーデンをしている原田さんと中澤さん。奥様同士仲良く一緒に苗を買いに行くこともあるそうです。大きなコンテナが素敵ですね。



3

5. 花の会初代会長白石さん宅。大きく育ったシラカバの木陰にさわやかな風が吹き、窓辺を飾るゼラニウムや玄関先にたくさん飾られたコンテナが素敵でした。また、可愛らしい小物たちもあちこちに飾られていて、とても楽しいお庭でした。



7



4



5

4. お隣の北広島花の会会長中澤さんのお庭は大きな木に囲まれ、しっとりと落ち着いた中にもタネまきで育てた植物が彩を添えていました。多肉のディスプレイはさすがです。



6



6. 山内さんのお宅には温室があるそうです。3年物のベゴニアにはお花がたくさん。

7. 谷口さん宅の絵画のような造作物。斜めの枠木にトルミエアとヒューケラのポットをはめ込んでいます。土が流れ出ないよう、ポットの下半分にはフタが。

表面の続き . . .

恵み野見学会とランチ交流会に参加されたみなさんの感想

お庭づくりは家庭円満の象徴のように思いました。お花にも家族にも、かけている愛情の深さが伝わりました。

歩いて恵み野を巡り、各ガーデナーさんのお宅を見られてよかったです。全体の町の風景、近隣の様子がリアルに伝わってきました。年月をかけて草花を育ててきた恵み野の方々、その人柄に触れられて参考になりました。

ガーデナーさんたちはスリムで、健康そうで、見習いたいものです。すばらしいお庭ばかりで夢のような風景でした。

十数年前に恵み野のガーデンを見に来ていたので、タウンガーデナーの企画で参加できてよかったです。素敵なお庭に癒され、疲れもとれました。

三角屋根とお花さん、花と街からの誘い . . . 、創意工夫と日々の愛しみ、花と人のやさしさの交差点、でした。

恵み野のお庭のご主人達がみな親切で、いきいき活動されていて、とても素敵だと思った。この輪がいろいろな老若男女に広がって、ステキな街にこれからもズウーッと続くことを祈っていますし、また伺わせていただけたらと思います！